

## 大会運営における準備（会場担当者）

○大会初日、予選は、午前と午後に分ける。

※ただし、2面使用の公共施設担当で、駐車場、待機場所、応援席十分に確保できている体育館は通常通り試合順を組まれて下さい。

・ 駐車台数を必要数、制限されて下さい。

※各チームの会場及び待機場所を確保お願いします。

学校であれば、エアコン付き部屋を借りれるようであれば、安心ですなければ、風通しのよい場所を確保されて下さい。

また、会場近くに公民館などあるときは待機場所として、エアコン付きフロアの確保など、いざというときのためご検討いただければと思います

※事前に当日の当番医院の電話番号など万が一に備えておかれて下さい

※緊急の場合は迷いなく119へ。

○機材等の準備デジタイマーオフィシャルキット、扇風機等

○事前に待機場所等をお知らせ下さい。

○タイムスケジュールを作成し、チャット等でお知らせされて下さい。

※メンバー変更がある場合、変更メンバー表を受け取られて、

勝ち上がりのチームへお渡し下さい。

○各会場で注意事項及びマナー、ルールを作成し周知されて下さい。

○指導者ライセンス証の確認をお願いします。

(熱中症対策として備品を購入された場合、領収書があれば引き換えします。4000円目安)

・ 熱中症対策として対策を施された場合、購入された領収書を支部理事へお渡しください。

3日目または4日目に領収書と引き換えに返却予定。(領収書は品名が書いてあるレシートタイプでよい)

・ 公民館冷房付など公共施設を借りた場合(一社)熊本県バスケットボール協会で領収書。

(熱中症対策例) 氷を購入し配布した、給水コーナーを提供した、簡易テントやシートを購入し、外に待機場所を用意した、待機場所用に小型扇風機を購入した、その他)

※公共施設エアコン付を待機場所で借りた場合、4000円を越えたとしても領収書をいただければ、引き換え致します

## 大会において各チームにおける準備物及び注意事項

- ①ホームページにある1週間分のチェックシートを記入し、各チームで保管します。  
提出の必要はありません。
- ②筆記用具                    オフィシャル時にお願いします。
- ③チームプレート2枚
- ④熱中症対策セット    各チームでも熱中症対策を。  
氷のう、氷、塩分のはいったドリンク、飴等、その他
- ⑤指導者ライセンス証(ベンチ1名)  
※マスクについては個人の自由とします。(審判のホイッスルカバー、マスクも同様)  
※マナーについて、駐車場台数は【チーム責任者の責任】において必ず守って下さい。  
※各会場でのルールは必ず守って下さい。  
※ゴミは必ず持ち帰ります。会場担当チームに迷惑をかけないように徹底する。

### ○応援マナーについて

- ・鳴り物について(笛、太鼓など楽器等、クラッカー等は禁止)  
(応援席からのすべてのものの投げ入れは禁止)
- ・音響機器を用いたアップについて  
対戦相手から音の大きさにクレームが入った場合、ボリュームを下げて下さい。
- ・カメラのフラッシュは禁止です。

### ○インテグリティ精神に則り活動します。(誠実、真摯、高潔)

- ・選手も指導者もサポーターもフェアプレーを。

### ○大会参加基準に一度目を通しておきましょう。

※タブレットやスマホなどの機器を用いたベンチと外部関係者との情報のやりとりは、禁止。ユーチューブライブ配信も認めません。被写体へ許可なしに配信は禁止されております。

### ○競技の捕捉    初日、2日目は【5(1) 5(5) 5(1) 5】クォーター

- ・初日、2日目は帯同審判です。(初日、2日目はコミッショナーは置かない)
- △得点は【チームベンチ側固定】となります、T0席裏にオフィシャル理解者1名配備。
- △前半は【自ベンチ側】に攻めます。なのでアップも自ベンチ側アップ。後半は逆。

・8人以上試合成立と交代について(別紙参照)の不成立でも試合は行って下さい。  
ただし報告は、【0—20】

- ・勝敗は必ず決めます。同点は2分あけて【3分間】の延長です。それでも同点は再延長  
(チームファール、個人ファール継続)
- ・全チーム1勝1敗→5人のフリースローの合計。(決まらない場(四角も同様))
- ・四角の場合対角が2勝同士の場合  
5分×2Qの決定戦を行う。その2Qは通常の3.4Qと考える。ただし、個人ファールは2回  
している状態とする。

## 8 人以上による試合成立と交代について

### ■ 通知内容

#### 試合成立のプレーヤー数の変更

- ・登録された競技者が 10 名未満のチームに対して、8 名による試合成立を認める。
- ・但し、登録数が 10 名を超えるチームに対しては、これまで通りの規程を適用する。
- ・2019 年 4 月 1 日から実施とする。

### ■ 導入の背景

これまで、ゲームにより多くのプレーヤーが出場できることを目的として、1 試合に 10 人以上のプレーヤーが出場することを規則としてきました。しかし、近年では少子化や児童数の減少などにより、地域で 10 人以上のプレーヤーを集めることができないチームも見られるようになってきました。

このため、これまでも一部の大会等では、普及を目的としてプレーヤーが 10 人未満のチームでも出場できるように配慮されてきましたが、改めて競技規則においても、8 人以上による試合成立を認めることとしました。

このルールは少子化などの理由でどうしても 10 人以上のプレーヤーを集めることができないチームを救済することを目的としており、強化的な考え方のもとに、意図的に 10 人未満の競技者登録を行うことは、普及の考え方に反するものです。

### ■ 実施時期と変更内容について

#### (1) 実施時期

- ・8 人以上による試合成立は、2019 年度より、すべての大会で適用する。

#### (2) 出場と交代に関するミニバスケットボール競技規則の新旧対照表

旧) ミニバスケットボール競技規則	新) ミニバスケットボール競技規則
<p>第 23 条 出場と交代</p> <p>各チームのプレイヤーのうち 10 人以上は、少なくとも 1 クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。</p> <p><u>(以下、交代に関する記述は下に移動)</u></p> <p>また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレイヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場していなければならない。</p>	<p>第 23 条 出場と交代</p> <p><b>【出場について】</b></p> <p><u>登録競技者が 10 人以上のチームは、各チームのプレイヤーのうち 10 人以上は、少なくとも 1 クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。</u></p> <p>また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレイヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場していなければならない。</p> <p><u>登録競技者が 10 人以上のチームは、10 人未満で大会にエントリーすることはできない。</u></p> <p><u>登録競技者数が大会エントリー数の上限を超えるチームは、大会エントリー数の上限に満たない人数のプレイヤーで大会にエントリーすることはできない。</u></p> <p><u>10 人以上で大会エントリーしたチームが、大会当日に 10 人未満のプレイヤーしか試合に出場できなかった</u></p>

やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーもその 1 クォーターを出場したものとみなされる。

第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、クォーター・タイムとハーフ・タイムのときのみ交代することができる。

第 4 クォーターと延長時限にタイム・アウトがあったときにはどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。

ただし、フリースローの前にタイム・アウトがあったとき、特例として最後のフリースローが成功した場合のみ、シューターの交代を認める。

**場合、試合は不成立とする。**

**登録競技者が 8 人以上 10 人未満のチームは、第 3 クォーターまでに全てのプレイヤーが少なくとも 1 クォーター( 6 分間)はゲームに出場しなければならない。その際、プレイヤーは第 3 クォーターまでに続けて 3 クォーター出場してはならない。**

やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーもその 1 クォーターを出場したものとみなされる。

**8 人または 9 人で大会エントリーしたチームが、大会当日にエントリー数に満たない人数のプレイヤーしか試合に出場できなかった場合、試合は不成立とする。**

**【交代について】**

第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、**プレーのインターバル**とハーフタイムのときのみ交代することができる。

第 4 クォーターと延長時限では、次のときにどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。

- ・タイムアウトがあったとき
- ・審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき
- ・ファウルのは後審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき
- ・最後のフリースローが成功したとき

### (3) 補足

- ① 自チームのプレイヤーが 10 人以上いる場合は、対戦相手のチームのプレイヤーが 10 人未満であっても、これまで通り 10 人ルールが適用されます。
- ② 「登録競技者」とは、チームが当該年度において(公財)日本バスケットボール協会に登録している競技者を指します。大会に登録(エントリー)したプレイヤーではありません。
- ③ プレーヤーの出場時間をコントロールするため、交代は第 4 クォーターと延長時限に限ります。
- ④ 多くのプレイヤーが出場できることを目的に、タイムアウト以外での交代も認めます。
- ⑤ 交代は、交代するプレイヤーが自分でスコアラーに申し出てください。

以上